

令和4年度小中英語パートナーシップ事業 推進地域実践報告(いわき地区)

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

拠点校Ⅰ (いわき立中央台南中学校)	実践の具体的な内容	取組による成果
	<ul style="list-style-type: none"> □ 帯活動での語彙力強化 □ 即興的なコミュニケーション活動 □ 楽しさ・安心感・達成感を与える授業づくり □ 単元ごとのCAN-DOリスト活用 □ 小中連携した「中央台版CAN-DOリスト」検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙力や即興性を育てる活動を通して、英語でのコミュニケーションに対する前向きな態度が育まれてきている。 ○ グループ学習などの取り組みを通して、生徒が楽しさや安心感をもって、授業に取り組むことができている。(授業アンケートより) ○ CAN-DOリストの習慣化が進み、次年度に向けた改善点も見えてきた。(CAN-DOリストからのTO-DOリスト)
	<ul style="list-style-type: none"> □ コミュニケーションに前向きに取り組むための場面設定の工夫 □ 中央台版CAN-DOリストの活用 □ 既習表現を用いたSmall Talk □ ミライシードを使用した教材作成と活用 □ 読み書き練習ワークシート等の活用 □ 教員同士の学び合い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DOリストを使った振り返りの一部をGoogle Formsで実施することで、授業後すぐに子どもたちの理解度や傾向をつかみ、次の授業に活かすことができた。 ○ 具体的な「目的・場面・状況」を設定して言語活動に取り組むことで、子どもたちが相手意識をもって主体的に学習することができた。 ○ CAN-DOリストを基に、単元を通してできるようになったことを教師と子どもが共有することで、「何ができるようになったか」が明確になり、子どものできたという実感がもちやすくなった。
	<ul style="list-style-type: none"> □ 単元及び本時の見通しをもつためのCAN-DOリストの活用 □ 単語絵カードの活用や複数のパターンでの会話練習 □ ALTの発音による聞く力の育成 □ 帯活動や宿題による書く力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DOリストの活用により、目標が明確になり、意欲的に授業に参加するようになった。 ○ 英語で話すことへの抵抗感が少なくなり、会話が継続するようになってきた。 ○ ALTが話す英語を多く聞かせることによって、英語を聞き取る力を育てることができた。 ○ 継続的に取り組むことにより、書くことへの抵抗感が減少した。